



新年のご挨拶

会長 吉原 健二

新年明けましておめでとうございます。皆様には恙無く良い新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

島田療育センターそして島田療育センターはちおうじも、平穏裏に新年をむかえることができました。本年は島田療育センター創立満55周年、島田療育センターはちおうじも開設よりこの4月で満5周年を迎える節目の年であります。これもひとえに、関係各界そして地域の皆様のご理解とご支援のもと今日を迎えられたことを改めて職員一同感謝申し上げます。

重症心身障害児(者)をとりまく環境は、昨今の経済情勢もあり、順風とは申し上げ難いものがあります。「社会福祉法等の一部を改正する法律案」もその一つであります。先に第164回通常国会において審議、可決された「公益法人制度改革関連三法案」に続き、我々の社会福祉法人へも「社会福祉法人制度改革」として、経営組織の見直し、透明性の確保、適正かつ公正な支出管理などの様々な組織変更が待ち受けていると予想されます。異なる法人格の福祉業界参入が増加する中で、社会福祉法人という極め

て公共性の高い法人である以上、地域や社会に開かれたものであることを示していかななくてはなりません。この法案には、社会福祉法人としての公共性を保持させる意味もあり、組織変更は容易なことではないものの、当法人といたしましても、しっかりと向き合い対処する所存であります。

本年は診療報酬の改定が予定されております。医療に対する政策は厳しい状況下であり、医療度の高い利用者様の多い当センターにとっても影響が少なからずあろうかとは考えられますが、入所者様への支援は元より、地域の皆様へ還元できるよう、今後も地域支援や在宅支援へさらに尽力すべく努力致します。

このように社会的情勢は変化してゆきますが、我々が療育に取り組む姿勢に変わりはなく、今後とも初代園長である小林堤樹先生の志を受け継ぎ、邁進してまいります。施設から在宅へと流れが変わってきている昨今、重症心身障害児・者、発達障害の専門医療機関として我々の役割を明確に打ち出していく次第でございます。何卒一層のご理解とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、合わせて良き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



第26回

療育集談会

第26回目となる療育集談会を、平成27年11月16日(月)に厚生棟で開催しました。今年度は例年と同じく演題を募集する「一般演題」と、過去に参加した研修等の報告を発表する「指定演題」の2種類の演題から、併せて9題が発表されました。

セッション1：療育実践

- スプーン介助とかじり取り介助による摂食・嚥下運動の比較検討(リハビリテーション部)
- 自傷行為のある利用者様のミトンを外す取り組み(療育部)
- 研修報告 災害看護；災害に強い病院をめざして(療育部)
- 日本重症心身障害福祉協会認定看護師について(療育部)

セッション2：情報提供・職員教育

- 重症心身障害児者を理解するための新入職員に対する取り組み(療育部)
- 人として当たり前の生き方を保障する障害者福祉の現状(スウェーデン、イタリア)～第32回清水基金海外研修報告(支援部)
- アメリカの障害児を取り巻く支援の現状について～多職種連携と家族支援を中心に～(支援部)
- 平成27年度 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会(秘書室)
- 社会福祉法人の寄付について～島田療育センター寄付の過去と現状～(事務部)

延べ128名の職員が参加し、活発な質疑も行われ、大変有意義な会となりました。

(療育集談会運営委員 神田 水太)

第42回 日本重症心身障害福祉協会

東日本施設協議会

平成27年11月5日(木)、6日(金)の二日間、東京都港区のベイサイドホテルアジュール竹芝に於いて、第42回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会が開催され、島田療育センターからは山川理事長、日本重症心身障害福祉協会の理事長でもある木実谷院長をはじめ5名の幹部が出席致しました。

今年度の開催は東京ブロックの秋津療育園が担当し、東日本の61施設から約157名の参加となりました。

2日間のプログラムと概要は以下の通りです。

障害児者の置かれている現在の状況や、豊かな生涯を支えどのような終末期を迎えて頂くかを考える施設協議会でした。次期は平成28年11月10、11日新横浜国際ホテルにて、ソレイユ川崎の担当で開催の予定です。

(事務部次長 森久保 真由美)

開催プログラム

平成27年11月5日(木)・6日(金)

開会式

特別講演

千葉徳洲会病院 緩和ケア部長 渡邊 敏氏
緩和医療について

前任の千葉県立がんセンターにおいて、癌治療と緩和医療の豊富な経験から、緩和医療科を設置されました。現在は千葉徳洲会病院緩和ケア病棟に勤務されています。様々な事例を通し、「痛みを和らげるケア」「終末期医療の方向性」「緩和ケア病棟不足等の問題点」等をお話下さいました。

議事・協議・報告

議長 島田療育センター 木実谷哲史院長
各施設からの議案

ここではあらかじめ各施設から寄せられた以下の質問項目について、アンケート調査を行い、その結果報告がありました。療養介護施設として、重症児者以外の受入れ対応について経験有が、17施設、無が30施設。経験有の施設からは疾病による個別対応やコミュニケーション等の問題点が多く寄せられました。

マイナンバー制度導入の対応について

入所利用者のカード取扱の不明確さが問題であるとの報告がありました。

ご家族がいない施設入所者が死亡した際の葬儀・埋葬方法等について

経験有が16施設。その中で施設内での葬儀3施設、施設外での葬儀13施設との報告がありました。

調査研究

秋津療育園 医務部主任 田村えり子氏
秋津療育園園生の麻疹、風疹、ムンプス、水痘ウイルスに対する抗体保有状況調査

結果報告がありました。会場からは、園生や職員の検査、予防接種に掛かる費用についての質問が多くありました。

希望の家療育病院 看護部長 田島雅之氏
協会認定重症心身障害看護師研修・関東甲信越地区の取り組みについて

運営やカリキュラム等今後の課題についての報告がありました。その一つに北関東ブロックでの受験生が減少している状況にあつて、今後は他ブロックとの共催や、研修を東京や関西などの中央で行っていく事が良いのではないかと報告がありました。

シンポジウム

座長 緑成会整育園 園長 山田直人氏
秋津療育園 園長 白井徳満氏
重症心身障害児・者の豊かな生涯とターミナル

超・準重症心身障害児・者について
保護者 村田恵美子氏

高齢化した重症心身障害児・者について
東京小児療育病院
作業療法科科长 小畑恵子氏

在宅の重症心身障害児・者について
在宅療育支援センター
東部訪問看護事業部部長 鈴木弘子氏

末期を迎えた重症心身障害児・者について
都立東大和療育センター 院長 倉田清子氏

閉会式

くつろぎフェスタ2015

平成27年11月8日、厚生棟にてミニ福祉機器展「くつろぎフェスタ2015」を実施しました。今回出展した全10社のうち、5社からは協賛金もいただき、無事に開催することができました。

当日はあいにくの雨天ではありましたが、そんな中27組64名の方が参加されました。お子様連れのご家族や施設職員の方が会場を訪れ、各企業ブースの前では熱心に出展者の話を聞く様子が見られました。午後には約40名の入所

利用者も会場を訪れ、1日を通して100名以上の参加となりました。

くつろぎフェスタは2年に1度の頻度で開催をしています。次はまた2年後、どうぞ楽しみに。
(リハビリ工学士 神田 水太)

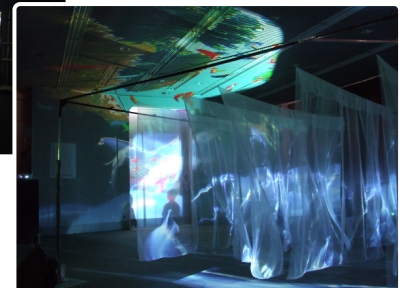


エプソンゆめ水族園

11月18日(水)の午後、厚生棟研修室にて「エプソンゆめ水族園」を開催しました。プロジェクター数台を設置して、壁・天井・透明感のある布に海中の様子を投影します。大きな映像空間の中で、利用者様はゆったりと過ごしました。幻想的な色彩空間と海中生物の臨場感に、あちこちから歓声が上がっていました。ペンギン、カメ、クラゲ、ウミヘビ、熱帯魚等の大きな映像を見ることは初めての体験でした。

セイコー・エプソン株式会社の福祉貢献活動

として、9名のスタッフがボランティアとして参加・運営にあたってくれました。ありがとうございました。
(療育長 高橋 節夫)



「島田療育センターを守る会」様より クリスマスケーキ寄贈

12月12日(土)は、各病棟で誕生会・クリスマス会を行いました。この日に合わせて、今年も「守る会」様から、利用者様にケーキを寄贈して頂きました。(自由が丘モンブランの特製ムースケーキです)

クリスマス会の後半には、栄養科よりこのケーキがおしゃれなお皿に乗って各病棟に届けられました。利用者様のおやつとして、おいしくいただきました。感謝致します。

(療育長 高橋 節夫)



事務部長
森久保 真由美

島田療育センター
を守る会 代表
稲葉 憲司 様

理事長
山川 常雄



▲ 守る会の稲葉様と共に撮影

◀ 開封したばかりのムースケーキ

ちよつとひと息

初老。もとは四十歳の異称。そんな歳はとうに越えた。バカボンパパの歳もとうに越えた。最近では近くが見えなくなった。娘は私立大学に入学することになった。俺の背を越した息子には都立高校に入学してもらいたいのだが、現実には厳しい。先々のことを考えると金銭面で苦悩が見える。四十を過ぎた頃より、今まで大切にしていた車もレコードもギターも本も大切ではなくなった。全て売り払って学費に充てよう。上手く時間が流れていると感じる。手前の

人生終わった感が日々強くなるが、まだ終わってはいない。しかと子孫を残す。普通に幸せ。週末には場末のバーで歌なんか歌ったりして平和な日々。

(理学療法士 杉沢 英浩)



島田の動きあれこれ

- ◆第25回 多摩市障がい者美術作品展
11月29日(日)～12月6日(日)に参加しました
- ◆コンプライアンスセミナー
12月1日(火)に行われました
- ◆摂食機能療法セミナー
12月3日(木)に行われました
- ◆トーンチャイムコンサート
12月15日(火)に行われました
- ◆CAPP
12月17日(木)に行われました

寄贈 クリスマス会に先駆け、12月12日に清水建設様からクリスマスケーキをいただきました。ご厚意に感謝いたします。



12月のほっと

今月のテーマは「季節を感じる～スヌーズレン」



1月 行事予定



(○数字は病棟名)

- 8日(金) 小遠足 相模原市立博物館⑤
- 12日(火) 成人・還暦のお祝い
- 13日(水) 小遠足 相模原市立博物館⑥
- 14日(木) 小遠足 相模原市立博物館⑦
- 15日(金) 小遠足 カリ北°1-05ト°①
- 19日(火) ドライブ 高幡不動尊③
- 20日(水) ドライブ 高幡不動尊②
- 22日(金) ドライブ 高幡不動尊⑤
- 27日(水) 小遠足 高幡不動尊②
- 29日(金) ドライブ 高幡不動尊①

入退所 状況

平成 27年 11月	入所	退所
長期	0 名	0 名
短期	19 名	19 名
緊急一時	25 名	25 名
医療緊急	3 名	3 名

お知らせ

- ◆成人・還暦のお祝い
1月12日(火)に行います。
- ◆第15回 公開シンポジウム

地域で共に生きる

～重度の心身障害のある方への地域支援～

日時 | 2月7日(日) 13:00～16:20
会場 | 島田療育センター厚生棟

※詳細はホームページをご参照ください。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会
島田療育センター

住所 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>